

淀川水系流域委員会

平成25年度進捗点検結果説明資料 【治水(桂川)】

平成26年12月3日

近畿地方整備局

平成26年度 第1回淀川水系流域委員会 説明資料【治水(桂川)】

点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁	
1	危機管理体制の構築	災害体験者からの災害状況の聞き取り及びその情報発信内容	有り	P.183	
2		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数	無し (人川と重複) 【第3回で説明】	P.184	
3		ハザードマップ作成内容・作成済み市町村数	完了	P.188	
4		まるとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数	無し (人川と重複) 【第3回で説明】	P.189	
5		破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況	災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容	有り	P.192
6			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	有り	P.194
7			水防団の高齢化に対する支援の内容・講演、出前講座実施回数	有り	P.195
8			水防拠点整備の内容・箇所数	無し	P.197
9			公共施設の耐水化の内容	無し	P.198
10			災害対応プログラムの作成内容	有り	P.199
11			水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数	有り (人川と重複)	P.201
12		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況	流域における保水・貯留機能確保の内容・貯留量	該当無し 【第3回で説明】	P.203
13			洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容	無し 【第3回で説明】	P.205
14			河川整備計画と都市計画との調整の内容	対象案件無し	P.206
15	堤防強化の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	無し	P.209	
16		堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	無し	P.211	
17		堤防天端舗装実施内容・延長	無し	P.212	
18		側帯整備実施内容・延長	無し	P.213	
19	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの状況	実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容	有り	P.217
20		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長	有り	P.221
21			新設ダムの効果内容・洪水位低下量	該当無し	P.224
22	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施状況	高規格堤防の整備内容・延長	該当無し (人川と重複)	P.227
23	土砂対策	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当無し	P.231	
24		土砂移動の制御の実施状況	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当無し (河川環境と重複)	P.234
25		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況	河床変動等の土砂動態モニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)	有り (河川環境と重複)	P.235

平成26年度 第1回淀川水系流域委員会 説明資料【治水(桂川)】

	点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
26	既設ダム等の運用	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	有り	P.238
27	高潮対策	高潮被害軽減策の実施状況	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当無し	P.242
28			陸閘操作の改善内容・箇所数	該当無し (重複)	P.243
29	地震・津波対策	地震対策事業の実施状況	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	該当無し 【第3回で説明】	P.246
30			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了	P.248
31		津波対策事業の実施状況	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当無し 【第3回で説明】	P.250
32			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当無し (完了)	P.251
33		陸閘操作の改善内容・箇所数	該当無し (重複)	P.252	

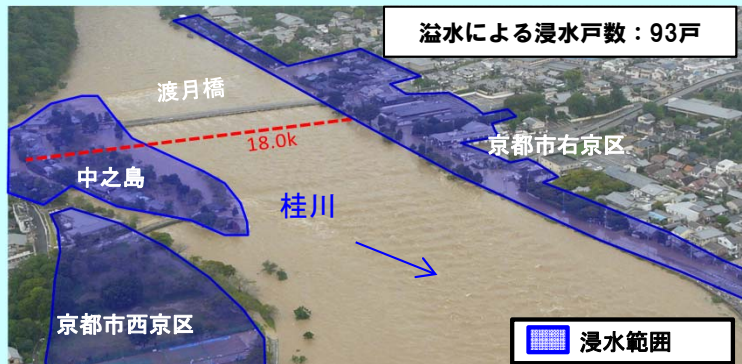
危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」災害体験者からの災害状況の聞き取り及びその情報発信内容

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所では、水害に強い地域づくり協議会等を通じて、台風18号による被害状況等の情報を各自治体の問い合わせ対応とともに状況の収集を行った。



桂川の出水状況(嵐山)



桂川・小畑川水防事務組合による水防活動

桂川の出水状況(久我)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>淀川河川事務所では、平成25年台風18号の被災状況等の情報について、水害に強い地域づくり協議会等を通じて各自治体から収集を行った。</p>	<p>平成25年度は災害状況の聞き取りにより当時の浸水状況及び地元水防事務組合等としての対応を確認し、地元水防事務組合等や住民の防災意識の向上を確認した。聞き取り調査を踏まえた浸水被害の検証結果については自治体等と情報共有を行った。</p> <p>今後も引き続き聞き取りの記録を活用するため聞き取り結果をわかりやすく表現し、地域と連携して啓発活動を進めていく必要がある。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数(人川と指標が重複)

桂川では進捗なし。猪名川では進捗があるため、第3回で説明。

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、新規に1団体へ情報提供を始めた。 平成25年度までの累計では、49団体と増加している。</p> <div data-bbox="255 644 714 997" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>情報提供団体数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>~H19</td><td>34</td></tr> <tr><td>H20</td><td>43</td></tr> <tr><td>H21</td><td>44</td></tr> <tr><td>H22</td><td>45</td></tr> <tr><td>H23</td><td>47</td></tr> <tr><td>H24</td><td>48</td></tr> <tr><td>H25</td><td>49</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>また、平常時から危機管理能力の向上を図るため、堤防の決壊を想定したシミュレーション訓練、総合防災演習及び陸閘の操作訓練を自治体や水防団と連携して実施した。 自治体や水防団と水防連絡会を開催し、沿川の危険箇所や災害時の連絡体制等について情報交換を行った。</p> <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数と重複掲載</p>	年度	団体数	~H19	34	H20	43	H21	44	H22	45	H23	47	H24	48	H25	49	<p>関係機関へ光ファイバー等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供でき、情報提供している団体数も増加している。 また、訓練や連絡会を通じて、関係機関との連携が図られている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携してさらに避難体制の基盤整備の支援や情報共有の促進及び関係機関との連携に取り組んでいく。</p>
年度	団体数																
~H19	34																
H20	43																
H21	44																
H22	45																
H23	47																
H24	48																
H25	49																

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数(人川と指標が重複)

桂川では進捗なし。猪名川では進捗があるため、第3回で説明。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、城陽市で5箇所、伊賀市で1箇所、伊丹市で1箇所、池田市で1箇所、川西市で8箇所のまるごとまちごとハザードマップを設置した。平成25年度末時点の整備済箇所は以下のとおりである。</p> <p>浸水想定区域表示看板(26箇所) (大阪市、京都市、草津市(試行)等)</p> <p>まるごとまちごとハザードマップ(157箇所) (八幡市(4)、宇治市(70)、大山崎町(4)、長岡京市(6)、向日市(9)、久御山町(9)、摂津市(2)、城陽市(5)、伊賀市(1)、尼崎市(9)、伊丹市(6)、池田市(5)、川西市(27))</p> <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数と重複掲載</p>	<p>万一の堤防決壊に備え、避難誘導と危機意識の醸成に資するため、まるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置が進んでいる。</p> <p>今後も関係自治体と連携してさらにまるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置を進めていく必要がある。</p>

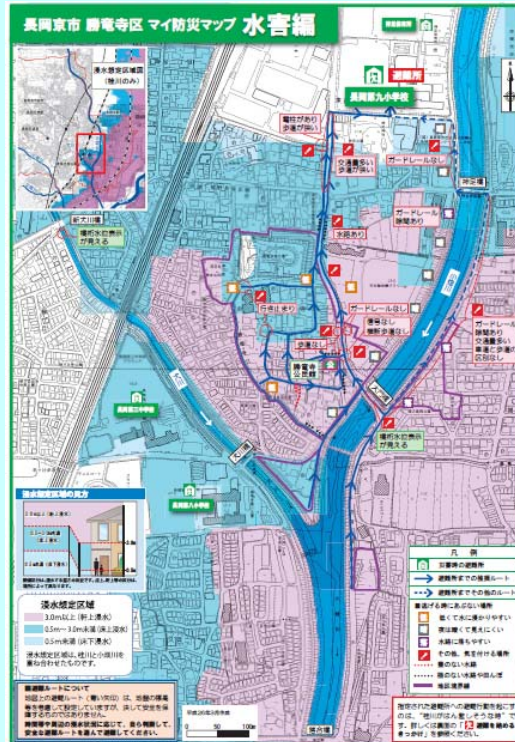
危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容

【マイ防災マップ等防災マップ作成マニュアルの作成状況】
【淀川河川事務所】

平成25年度の水害に強い地域づくり協議会において、ケーススタディー地区として、京田辺市三野区、草内区および長岡京市勝竜寺地区を対象に「マイ防災マップ」を作成するとともに、他の自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案)自治体職員向けを作成した。また、水害に強い地域づくりに資する取組事例等を整理した住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)、自治体が効果的に水位予測情報を活用できるよう「水位予測情報の活用の手引き」(案)を作成した。



マイ防災マップ作成事例：長岡京市勝竜寺地区

淀川 水害に強い地域づくり協議会 <http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/kyogikai/index.html>



地域住民が参加した「マイ防災マップ」作成風景

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 淀川河川事務所においては、平成25年度は、自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案)自治体職員向けを作成するとともに、水害に強い地域づくりに資する取組事例等を整理した住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)、自治体が効果的に水位予測情報を活用できるよう「水位予測情報の活用の手引き」(案)の作成を行った。(平成25年度 水害に強い地域づくり協議会) 猪名川河川事務所においては、猪名川流域総合治水対策協議会(情報伝達や避難体制の構築に係る専門部会)の活動として、沿川自治体に避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成について説明を行っている。 	<p>水害に強い地域づくり協議会において、マニュアル作成に向けた検討を進めている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携して、検討を進めていく。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実績)</p> <p>平成25年6月の水防法改正により、地下街の所有者等に対して、避難確保計画や浸水防止計画の作成、訓練の実施、自衛水防組織の設置が規定されたこと等を踏まえ、自治体と連携して、法改正の内容について説明会を行った。</p>	<p>自治体や地下空間管理者と連携して情報伝達体制整備が進められており、地下空間管理者による避難確保計画の策定が進められている。</p> <p>今後も水害に強い地域づくり協議会を通じて関係自治体等と連携して、検討を進めていく。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水防団の高齢化に対する支援の内容・講演、出前講座実施回数

【水防に関する出前講座事例】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、平成25年度に大阪府立消防大学校における水防工法の指導や小学校における水防工法の指導等、職員や河川レンジャーによる水防に関する出前講座を39回開催している。

＜京都市消防学校＞

土嚢作成や月の輪工の実技指導を実施した。



＜澱川右岸水防事務組合 桂川・小畑川水防事務組合＞

土嚢作成や月の輪工の実技指導を実施した。

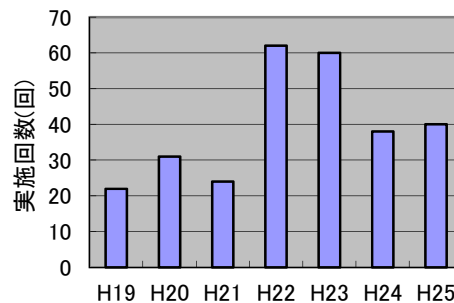


進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、流域全体で水防団活動や水防工法に関する講演や出前講座を40回行った。

水防に関する講演・出前講座の実施回数



点検結果

水防団活動及び水防技術に関する講演や出前講座、レンジャー活動により、水防活動に対する意識啓発が進められている。

水防団員の高齢化等への対策の観点からも、さらなる普及に努めていく。

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水防拠点整備の内容・箇所数

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度 of 取組) 平成25年度に新たに整備した箇所は無い。</p>	<p>水防上の拠点については、河川防災ステーション全3箇所のうち、完成が2箇所、整備中が1箇所、また水防拠点全19箇所のうち、完成が2箇所となっている。 今後もさらなる整備に向けて地元調整等を図る。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」公共施設の耐水化の内容

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実施) 平成25年度は整備箇所なし。</p>	<p>公共施設の耐水化については、地域としての取り組みが行われているが、さらなる取り組みの拡大が望まれるところである。</p>

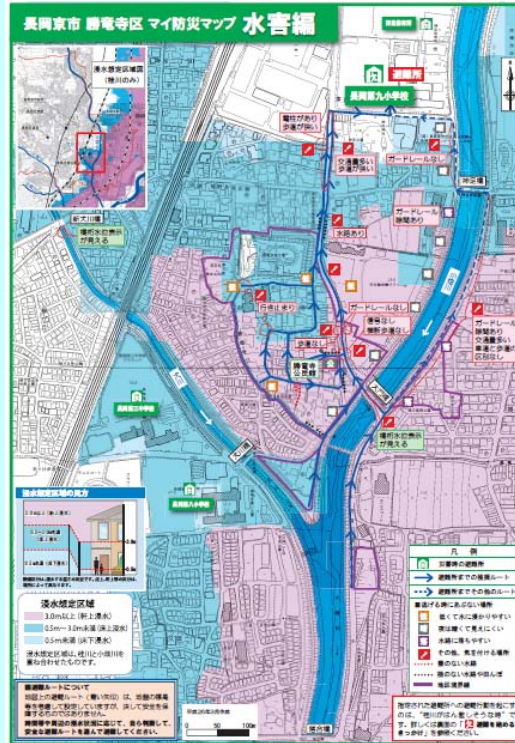
危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」災害対応プログラムの作成内容

【マイ防災マップ等防災マップ作成マニュアルの作成状況】
【淀川河川事務所】

平成25年度の水害に強い地域づくり協議会において、ケーススタディー地区として、京田辺市三野区、草内区および長岡京市勝竜寺地区を対象に「マイ防災マップ」を作成するとともに、他の自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案)自治体職員向けを作成した。また、水害に強い地域づくりに資する取組事例等を整理した住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)、自治体が効果的に水位予測情報を活用できるよう「水位予測情報の活用の手引き」(案)を作成した。



マイ防災マップ作成事例：長岡京市勝竜寺地区
淀川 水害に強い地域づくり協議会 <http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/kyogikai/index.html>



地域住民が参加した「マイ防災マップ」作成風景

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 淀川河川事務所においては、平成25年度も引き続きマイ防災マップの作成をケーススタディー地区3箇所(長岡京市及び京田辺市)で行い、自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案)自治体職員向けを作成した。 	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり、淀川河川事務所では、各自治体職員の研修会を実施するなど関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数(人川と指標が重複)

【協議会の開催状況】

【淀川河川事務所】

マイ防災マップの作成手順書 水害編(案) 自治体職員向けの作成、住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)の作成、「水位予測情報の活用の手引き」(案)の作成等の様々な活動を実施している。



○第1回行政WG会議 議題
・平成25年度活動方針



○第3回行政WG会議 議題
・本年度の活動成果の報告
・首長会議に向けた調整



○第2回行政WG会議 議題
・本年度の活動状況の中間報告



○首長会議 議題
・「台風18号により各市町において明らかになった課題」について

7月16日、17日
第1回行政WG会議
●平成25年度の活動の提案



9月10~12日
ブロック別会議
西大阪治水ブロック 京都・乙訓土木ブロック
茨木土木ブロック 山城北土木ブロック
枚方土木ブロック 山城南土木ブロック
●平成25年度の活動に対する意見収集



1月20日、22日
第2回行政WG会議
●平成25年度の活動の中間報告



2月21日、26日
第3回行政WG会議
●平成25年度の活動報告



3月14日、20日
首長会議

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数(人川と指標が重複)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所管内においては、平成25年度は、首長会議2回、ワーキンググループ6回、地域住民・自治体職員の防災意識向上を目的とした講演会・研修会を5回実施し、水害に対する備えについて情報提供をおこなった。 ・琵琶湖河川事務所管内においては、平成25年度は、高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会を1回開催した。 ・猪名川河川事務所管内においては、平成25年度は、流域の都市化に伴い治水の安全度が低下している猪名川流域において、土地の適正な利用計画等、総合的な治水対策のための諸施策を協議のうえ策定し、かつその施策を推進することにより水害を防止し、また軽減を図ることを目的とした、猪名川流域総合治水対策協議会、幹事会を各1回開催した。 ・木津川上流河川事務所管内においては、平成25年度は木津川流域での協議会発足に向けて調整を行っており、三重県、伊賀市、木津川上流河川事務所の3者で準備に向けた打合せを平成26年2月21日に実施した。 <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]協議会等の設置状況と重複掲載</p>	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

危機管理体制の構築

【観点】河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況

「指標」洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容

桂川では進捗なし。猪名川では進捗があるため、第3回で説明。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度 of 取組)</p> <p>滋賀県において、平成26年3月に流域治水の推進に関する条例および施行規則が施行された。</p> <p>兵庫県において、平成25年度は地域総合治水推進計画策定に向けた準備会議を1回開催した。</p>	<p>今後も引き続き、琵琶湖水位上昇に伴う琵琶湖周辺における浸水被害を軽減するため、土地利用規制・誘導施策の具体化に向けた検討を行い、滋賀県・関係市等と協議を進め、進捗に努める。</p> <p>猪名川においては、猪名川流域総合治水対策協議会を通じて関係機関と調整を図り、進捗に努める。</p>

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長

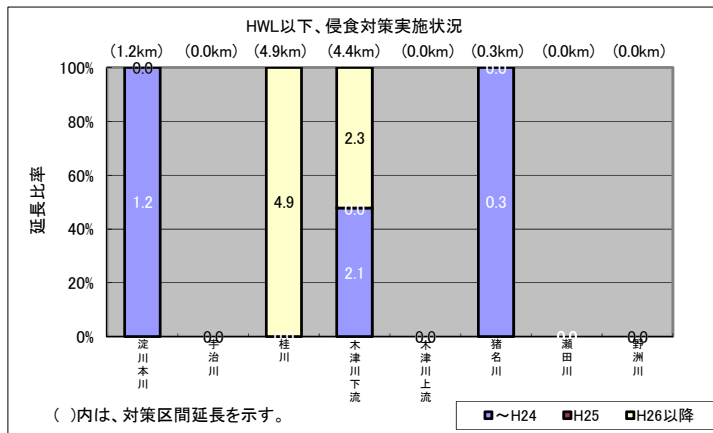
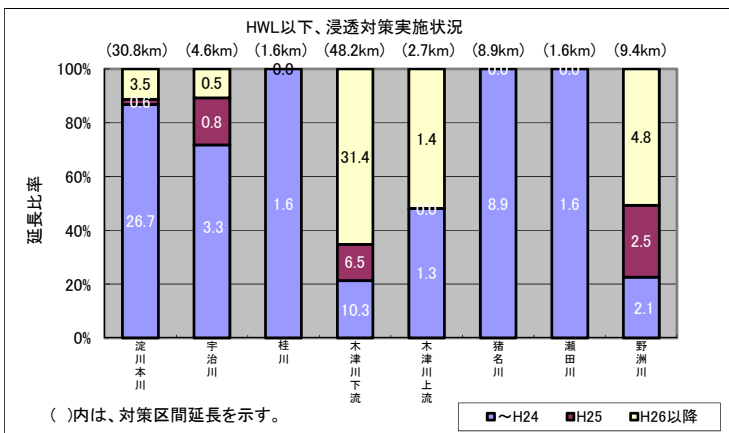
桂川では進捗なし。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は10.4kmの整備を実施した。

平成25年度までに67.5kmについて整備を実施している。



点検結果

HWL以下の浸透、侵食対策については、着実に実施している。

整備計画では緊急整備区間については10年以内で実施し、それ以外の区間は計画的に実施することとしているが、平成24年9月に公表した堤防の緊急点検結果を踏まえ、整備計画の緊急整備区間外も早期に完成できるよう進捗を図り、堤防強化を推進していく。

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は5.5kmの整備を実施した。平成25年度までに57.4kmについて整備を実施している。</p> <div data-bbox="667 475 1413 863"> <table border="1"> <caption>堤防天端以下、侵食対策実施状況</caption> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>～H24 (km)</th> <th>H25 (km)</th> <th>H26以降 (km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淀川本川</td> <td>36.7</td> <td>1.3</td> <td>39.3</td> </tr> <tr> <td>宇治川</td> <td>2.7</td> <td>0.8</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>桂川</td> <td>5.4</td> <td>0.0</td> <td>26.2</td> </tr> <tr> <td>木津川下流</td> <td>6.7</td> <td>3.4</td> <td>41.9</td> </tr> <tr> <td>瀬田川</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>野洲川</td> <td>0.4</td> <td>0.0</td> <td>26.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51.9</td> <td>5.5</td> <td>177.6</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区間	～H24 (km)	H25 (km)	H26以降 (km)	淀川本川	36.7	1.3	39.3	宇治川	2.7	0.8	42.0	桂川	5.4	0.0	26.2	木津川下流	6.7	3.4	41.9	瀬田川	0.0	0.0	2.0	野洲川	0.4	0.0	26.4	合計	51.9	5.5	177.6	<p>堤防天端以下の侵食対策については、着実に実施している。</p> <p>今後も引き続き、堤防強化の一貫として整備の促進に努める。</p>
区間	～H24 (km)	H25 (km)	H26以降 (km)																														
淀川本川	36.7	1.3	39.3																														
宇治川	2.7	0.8	42.0																														
桂川	5.4	0.0	26.2																														
木津川下流	6.7	3.4	41.9																														
瀬田川	0.0	0.0	2.0																														
野洲川	0.4	0.0	26.4																														
合計	51.9	5.5	177.6																														

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」堤防天端舗装実施内容・延長

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																																								
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は8.9kmの整備を実施した。 平成25年度までに260.5kmについて整備を実施している。</p>	<p>堤防天端舗装の実施について、各区分毎の安全性や緊急性をふまえて着実に進捗している。</p> <p>今後も、地元と調整を図りながら計画に沿った整備を進める。</p>																																								
<p style="text-align: center;">堤防天端舗装実施状況</p> <table border="1"> <caption>堤防天端舗装実施状況 (単位: km)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>～H24</th> <th>H25</th> <th>H26以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淀川本川</td> <td>52.7</td> <td>8.2</td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>宇治川</td> <td>38.2</td> <td>4.2</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>桂川</td> <td>30.0</td> <td>0.0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>木津川下流</td> <td>50.4</td> <td>0.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>木津川上流</td> <td>19.9</td> <td>1.4</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>猪名川</td> <td>33.6</td> <td>0.0</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>瀬田川</td> <td>1.7</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>野洲川</td> <td>25.1</td> <td>0.0</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>251.6</td> <td>8.9</td> <td>34.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	～H24	H25	H26以降	淀川本川	52.7	8.2	21.4	宇治川	38.2	4.2	3.1	桂川	30.0	0.0	1.6	木津川下流	50.4	0.1	1.5	木津川上流	19.9	1.4	0.7	猪名川	33.6	0.0	4.1	瀬田川	1.7	0.0	0.3	野洲川	25.1	0.0	1.7	合計	251.6	8.9	34.4	
区分	～H24	H25	H26以降																																						
淀川本川	52.7	8.2	21.4																																						
宇治川	38.2	4.2	3.1																																						
桂川	30.0	0.0	1.6																																						
木津川下流	50.4	0.1	1.5																																						
木津川上流	19.9	1.4	0.7																																						
猪名川	33.6	0.0	4.1																																						
瀬田川	1.7	0.0	0.3																																						
野洲川	25.1	0.0	1.7																																						
合計	251.6	8.9	34.4																																						

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」側帯整備実施内容・延長

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度は整備を実施していない。</p>	<p>側帯整備の実施について、平成25年度は整備実績が無かったが、今後も、地元と調整を図りながら整備を進める。</p>

川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】上下流バランスの状況

「指標」実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容

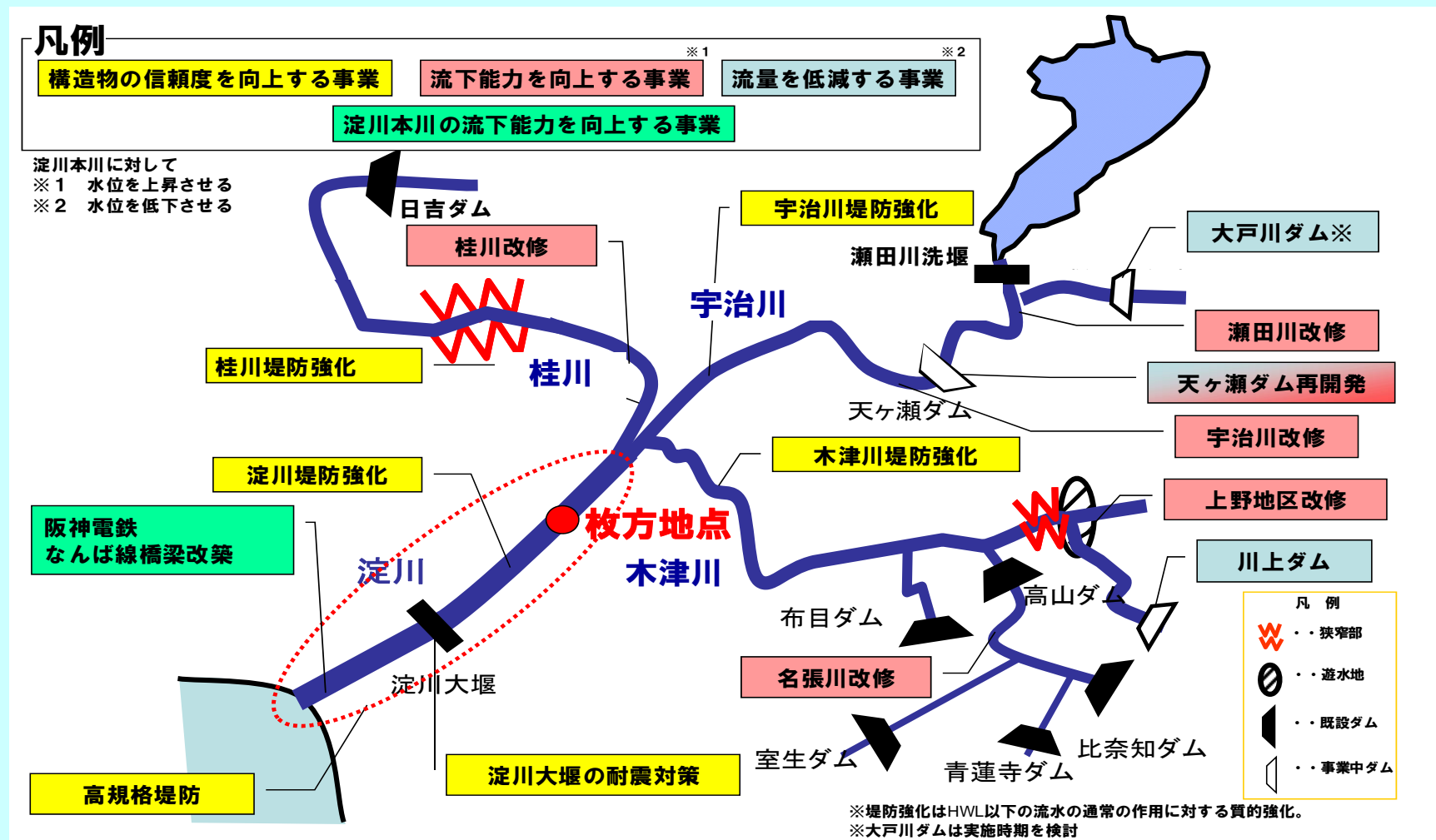
【上下流バランスの考え方】

【淀川本川】

整備のいかなる段階においても、計画規模以下の洪水に対しては計画高水位以下の水位で安全に流下させる。

【桂川・宇治川・木津川】

戦後最大の洪水である昭和28年台風13号洪水を計画高水位以下の水位で安全に流下させる。



川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】上下流バランスの状況

「指標」実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容

【河床掘削事例 桂川】

【淀川河川事務所】

桂川では平成16年台風23号洪水に対応するために、平成22年度より下植野地区において河道掘削を実施すると共に、大下津地区において昭和54年度より引堤事業を実施中。

河道掘削



樹木伐採



越水地点



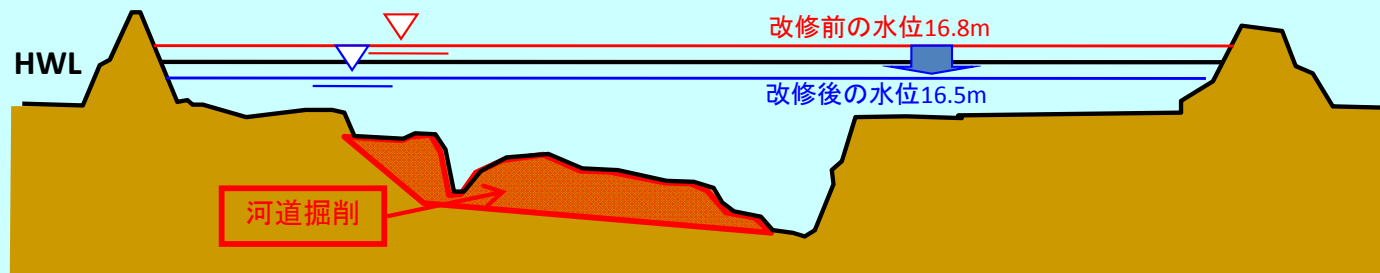
引堤事業



● 今回の台風18号の洪水時の水位を、掘削がないとした場合の計算水位と比較すると約0.3mの水位低下の効果が見込まれ、掘削済区間においてはピーク時の水位を計画高水位以下におさえることができた。また、上流の越水地点においては0.1m程度の水位低下効果があったと見込まれる。

掘削済区間(1.6k地点)での水位低下効果

京都市伏見区



川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】上下流バランスの状況

「指標」実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実績)</p> <p>平成25年度は、上下流バランスを確認しながら、治水安全度の低い箇所において、以下の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂川では平成25年9月に発生した台風18号により、浸水被害が発生したことから、緊急対策区間として設定し、現在実施中の河道掘削を大幅に前倒して実施することとし、河積拡大に向けて掘削等を実施。 ・宇治川においては、引き続き、河積拡大に向けて塔の島地区の河川改修を実施。 ・瀬田川については、引き続き、河道掘削を実施。 ・木津川上野遊水地については、本川堤締切に向けて新居橋の架替工事を実施。 ・柘植川については、無堤部の築堤を実施。 ・猪名川については、引き続き、河道掘削を実施。 	<p>上下流バランスを考慮し、安全度の低い中上流部の治水対策を段階的に進めている。</p> <p>今後も上下流バランスを確認しながら河積拡大等の整備を実施する。</p>

川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況

「指標」実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長

【平成25年9月台風18号出水】

台風18号の豪雨により、淀川水系において、桂川、宇治川が計画高水位、木津川がはん濫危険水位、名張川が避難判断水位を超過した。



【桂川の緊急治水対策(平成25年9月台風18号出水)】



進捗状況

(平成25年度の取組)

- 平成25年度も上記に引き続き整備を行った。
- 桂川では平成25年9月に発生した台風18号により、浸水被害が発生したことから、緊急対策特定区間として設定し、現在実施中の河道掘削を大幅に前倒して実施することとし、河積拡大に向けて掘削等を実施。
- 宇治川においては、引き続き、河積拡大に向けて塔の島地区の河川改修を実施。
- 瀬田川については、引き続き、河道掘削を実施。
- 木津川上野遊水地については、本川堤締切に向けて新居橋の架替工事を実施。
- 柘植川については、無堤部の築堤を実施。
- 猪名川については、引き続き、河道掘削を実施。

点検結果

洪水位の低減のための整備を着実に進めている。
 今後も上下流の水位変化を確認しながら河積拡大等の整備を実施する。

土砂対策

【観点】流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況

「指標」河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)(河川環境と指標が重複)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、土砂動態の実態把握のためのモニタリングを継続した。</p> <p>一庫ダムの堆砂については、計画堆砂量250万m³のうち、平成25年度末で堆砂率が約36%となっている。</p> <p>日吉ダムの堆砂については、計画堆砂量800万m³のうち、平成25年度末で堆砂率が約20%となっている。</p> <p>堆砂については、今後も監視を行い、ダム機能の維持の排砂の検討を行っていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="85 679 743 1082"> <p>一庫ダム</p> </div> <div data-bbox="775 679 1415 1149"> <p>日吉ダム</p> </div> </div> <p>点検項目「流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築」の[指標] 河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)と重複掲載</p>	<p>淀川水系総合土砂管理検討委員会の指導・助言を得ながら、水系内の実態把握に努めている。</p> <p>今後も、引き続きモニタリングを行い、淀川水系総合土砂管理検討委員会の指導・助言を得ながら、総合土砂管理方策の検討を進める。</p>

既設ダム等の運用の検討

【観点】河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況

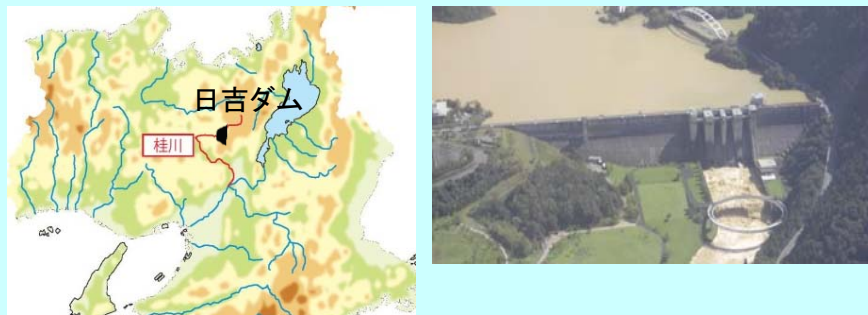
「指標」既設ダムの効果内容・洪水位低下量

【日吉ダムの効果事例】

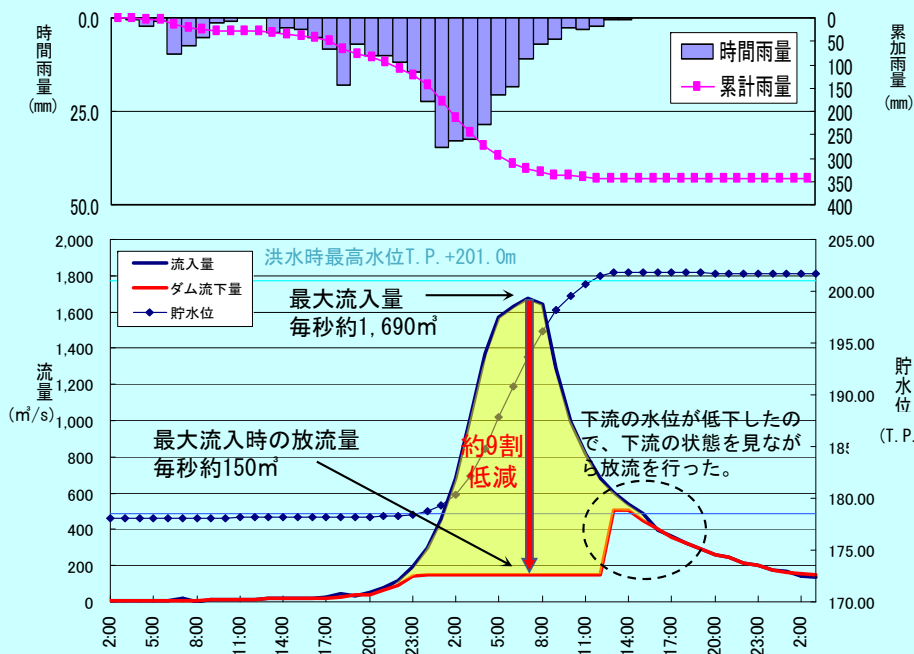
台風18号により日吉ダムの流域では、1時間雨量で最大流域平均雨量34mm、降り始めからの総雨量は345mmを観測した。この降雨により日吉ダムへの最大流入量は毎秒約1,690立方メートルに達し、日吉ダム管理開始(平成10年)以降最大の流入量を記録した。

日吉ダムでは、流域全体の安全を確保するため、ゲート操作を行うことにより、最大流入時には下流の河川へ流す水量を毎秒約150立方メートルとし、毎秒約1,540立方メートルの流量を低減(約9割低減)した。この結果、この洪水期間中日吉ダムには約4,460万立方メートル(京セラドーム大阪約37杯分)の水をダムに貯留した。

この結果、ダム下流の嵐山付近では桂川の水位を約50cm低下させる効果があったものと推定される。



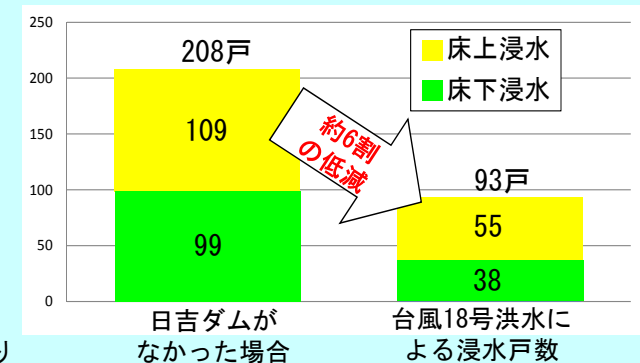
(日吉ダム)降雨量/流入量・放流量



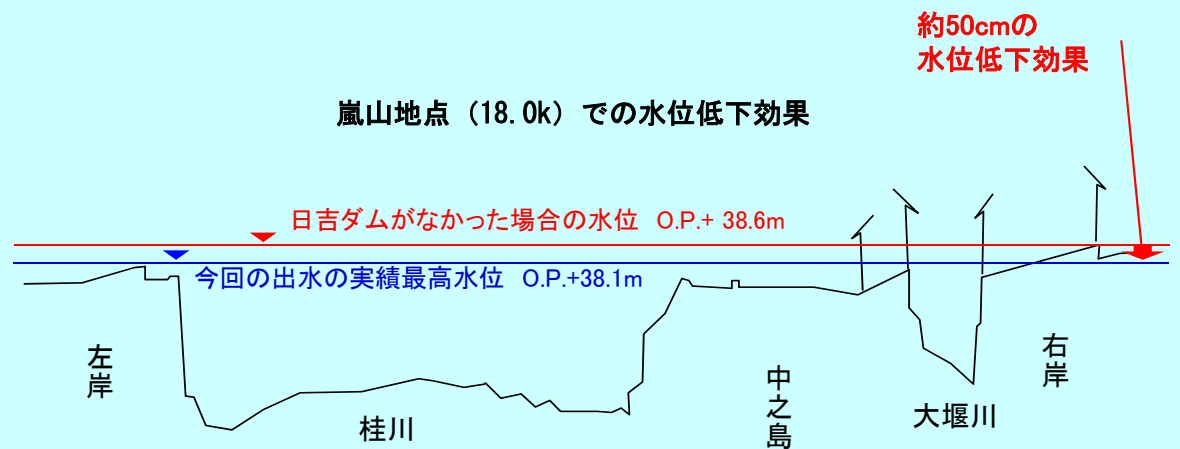
嵐山地区における日吉ダムによる浸水範囲の低減効果



■ 台風18号洪水による浸水範囲
 ■ ダムの効果により浸水を防止した範囲



嵐山地点 (18.0k) での水位低下効果



既設ダム等の運用の検討

【観点】河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況

「指標」既設ダムの効果内容・洪水位低下量

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、淀川水系のダム群において、合計9回の洪水調節を行った。</p>	<p>平成25年は洪水調節だけでなく、さらに放流量を絞り込む操作により、下流河川および支川の水位低減に大きく寄与した。</p> <p>今後、引き続き既設ダムの容量を最大限に活用するよう、弾力的な運用に努める。</p>